

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	－	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・評価調査者は、直近2年で減少傾向にあるが、活動実績によると、初任者研修の受講者が昨年度と同数おり、また継続研修の受講者が増加していることから、今後、評価調査者の定着が見込まれる。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		病院機能評価については、単年度で黒字に転化したため、日本医療機能評価機構の単独事業で行うこととし、平成23年度以降の補助金は廃止した。	
予算監視・効率化チームの所見			
		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

厚生労働省
22年度執行額25百万円

(病院機能評価の調査者(サーベイヤー)の安定的な量的・質的確保を支援するもの)
(病院機能評価のあり方に関する基礎的・制度的研究を支援するもの)

* 補助率100%

【補助】

A 財団法人
日本医療機能評価機構
25百万円

※全国の病院を対象とした機能
評価を実施するために、研修な
どを行うもの

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.(財)日本医療機能評価機構			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	研修会講師及び研修生、並びに 改定調整検討会WG委員	18			
諸謝金	研修会講師、並びに改定調整検 討会WG委員	4			
雑役務費	振込手数料、研修用DVD作成料 等	1			
賃借料	研修会会場料	1			
印刷製本費	研修会資料、データブック印刷費	1			
計		25	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト
A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本医療機能 評価機構	全国の病院を対象とした機能評価を実施するために、研修などを行う	25		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					